

8 防災行政

(1) 防災訓練の実施

市町村、防災関係機関等と連携し、以下の訓練を実施した。

- ア 豪雨災害対応防災訓練（5月29日）
- イ 総合防災訓練（11月19日）
- ウ 緊急対策チーム図上訓練（10月21日）

(2) 防災対策の推進

令和7年3月に改訂した「第五期岐阜県地震防災行動計画（令和7年度～11年度）」に盛り込まれた施策をはじめとした、大模地震等防災対策を推進した。

○住民の適切な避難行動の支援

住民一人ひとりが、災害リスクに応じた避難のタイミングや避難経路を調べて作成する「災害・避難カード」のさらなる普及を図るため、Web 動画の配信や、作成講習会への講師の派遣、指導者養成講座等を実施した。

○県民への防災普及啓発

令和7年度から5年間を計画期間とする第3期岐阜県強靱化計画において、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る「災害から命を守る岐阜県民運動」を全世代に向けて展開した。

ア 防災啓発イベント

デジタル環境のない県民や災害無関心層に防災への意識を持っていただく機会として、広域防災センターや大型商業施設等での啓発イベントを開催。

イ 災害から命を守る動画コンテンツ制作・YouTube 配信

自宅で防災について学び、行動のきっかけとする防災啓発動画を制作し、YouTube で発信

ウ 新聞・雑誌等広報

新聞紙面において防災啓発広告掲載

エ 「災害・避難カード」特別講座の実施

地域の特性に応じた災害への備えを啓発するため、学校に有識者等を派遣して「災害・避難カード」特別講座を実施。令和6年度は、県内18の小中学校、高校で実施し、計1,764人が参加。

オ 広域防災センター等における啓発活動

広域防災センターにおいて、地震体験装置による地震体験やVRゴーグルを活用した災害の疑似体験、消火器の操作、パネル展示等を通じて、防災知識の普及向上に努めた。また、地震体験車の出展や貸出しを通して啓発を実施した。

地震体験車利用状況（過去5年の利用状況）

年 度	R 2※1	R 3※2	R 4	R 5	R 6
利用者数(人)	0	1,948	10,231	12,527	9,493

※1：令和2年度は故障により使用不能

※2：令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため運休期間あり

(3) 地域防災力の強化

実際に災害対応を行う岐阜県と高度教育機能・研究機能を持つ岐阜大学が共同して、防災・減災にかかる実践的なシンクタンク機能を担う「清流の国ぎふ 防災・減災センター」を岐阜大学内に設置し、人材育成・普及啓発、技術支援、調査研究により地域防災力の強化を図っている。

○防災人材育成の主な取り組み

ア 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座の実施

防災に関する専門的知識を習得し、将来、地域の防災リーダーとして活躍することが期待できる人材の育成を目的とする講座を開催。

清流の国ぎふ防災リーダー認定者（講座修了者）	H 2 8 年度	176 人
	H 2 9 年度	197 人
	H 3 0 年度	188 人
	R 1 年度	191 人
	R 2 年度	48 人（オンライン講座）
	R 3 年度	152 人
	R 4 年度	176 人
	R 5 年度	183 人
	R 6 年度	170 人

イ げんさい未来塾の実施

地元自主防災活動を主導する等、地域の防災を担うとともに、全県的に防災人材の育成に携われる人材を、指導教官のもとでのO J Tを主体とした1年間にわたる研修により育成する講座を開催

げんさい未来塾卒業生	H 2 8 年度	9 人
	H 2 9 年度	4 人
	H 3 0 年度	9 人
	R 1 年度	9 人
	R 2 年度	4 人
	R 3 年度	9 人
	R 4 年度	5 人
	R 5 年度	7 人
	R 6 年度	6 人

ウ 災害図上訓練指導者養成研修の実施

地域の防災活動に取り組む住民や行政職員等を対象に、風水害から適切に避難する方法や地震の被害を軽減するための日頃の備えと地域の防災活動の重要性などを学ぶ、災害図上訓練の指導者を養成するための研修を実施。

年度	風水害編		地震編		参加者計
	実施箇所数	参加者数	実施箇所数	参加者数	
H 2 8	6 カ所	263 人	6 カ所	63 人	326 人
H 2 9	4 カ所	81 人	3 カ所	170 人	251 人
H 3 0	3 カ所	128 人	1 カ所	47 人	175 人
R 1	1 カ所	45 人	-	-	45 人
R 2	-	-	-	-	-
R 3	-	-	-	-	-
R 4	-	-	-	-	-
R 5	-	-	-	-	-
R 6	-	-	-	-	-

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、すべて中止

エ 避難所運営指導者養成研修の実施

地域の防災活動に取り組む住民や行政職員等を対象に、大規模地震発生時の避難所で起こる様々な出来事にどのように対応していくかを模擬体験する避難所運営ゲーム（HUG）を通して、避難所の運営方法を学ぶ研修を実施。

年度	実施箇所数	参加者数
H 2 8	6 箇所	376 人
H 2 9	14 箇所	619 人
H 3 0	25 箇所	1, 141 人
R 1	21 箇所	926 人
R 2	3 箇所	112 人
R 3	3 箇所	98 人
R 4	1 箇所	10 人
R 5	1 箇所	90 人
R 6	-	-